

## 施工実例



**目的:盛土沈下対策**  
発注:国土交通省千葉国道事務所  
径 ; 2,500  
本数;240本  
・2,500の大口径により、大幅な工期短縮効果で採用されました。



**目的:円弧すべり対策**  
発注:国土交通省岡山国道事務所  
径 ; 2,200, 2,000  
本数;1,059本  
・既存のバックドレーンを引きちぎりながら、大口径を施工しました。  
また、ラップ施工により、コラムの剛性を高め、土圧を抵抗させております。



**目的:建築物基礎**  
発注:民間  
径 ; 2500, 2,000, 1,500  
本数;3,030本  
・従来工法で、8,600本程度を大幅に削減し、コスト・工期の短縮を実現しました。  
(右側写真)7.50mの自立土留壁



**目的:建築物基礎**  
発注:民間  
径 ; 2500, 2,000, 1,500  
本数;1,517本  
・従来工法で、5,000本程度を大幅に削減し、コスト・工期の短縮を実現しました。

その他、擁壁基礎・護岸基礎・液状化対策・側方変位対策・山留壁・止水壁・橋台、橋脚基礎・タンク基礎・地中切梁等の用途があります。

### 技術資料等の入手に関するお問い合わせ先

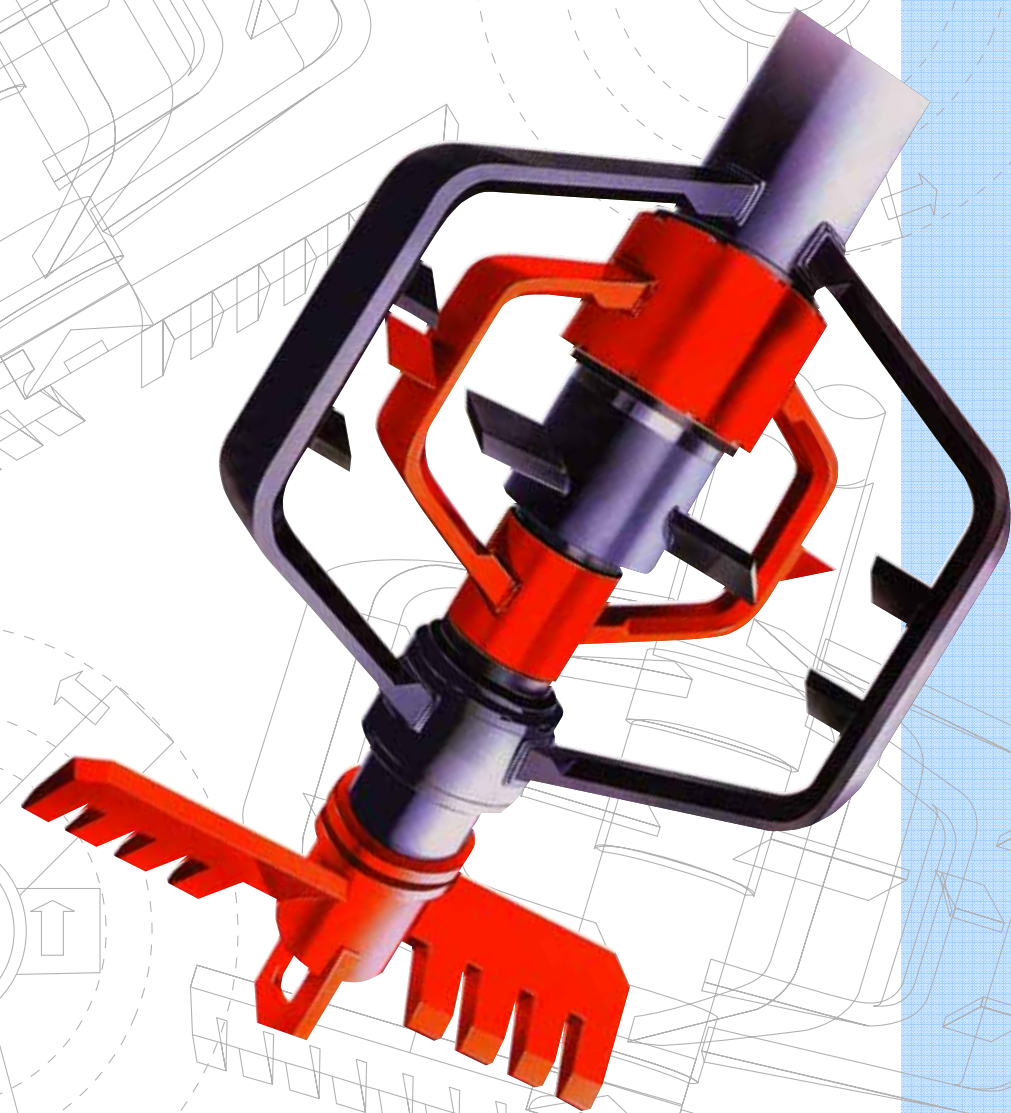
技術資料等の入手を希望される方は、下記までお問い合わせください。

関連技術資料:審査証明報告書、  
技術資料、カタログ、施工実績表

エポコラム協会 本部  
TEL;092-412-0263 FAX;092-412-4889  
e-mail;LEL05505@nifty.ne.jp  
<http://homepage3.nifty.com/epocolumn/>

# Epoch-making Soilmixed Method

## エポコラム工法 エポコラム-Loto工法

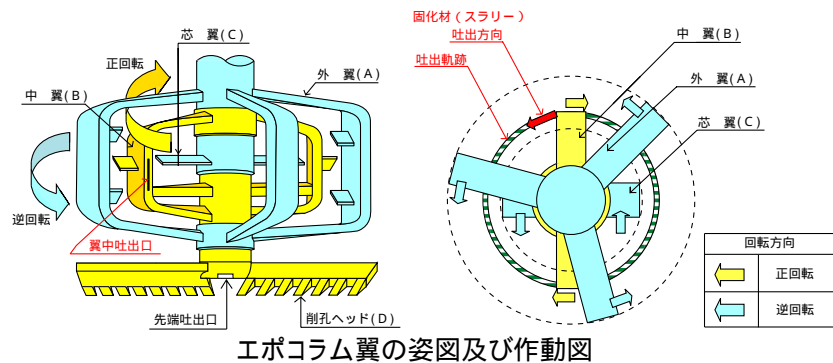


## エポコラム協会

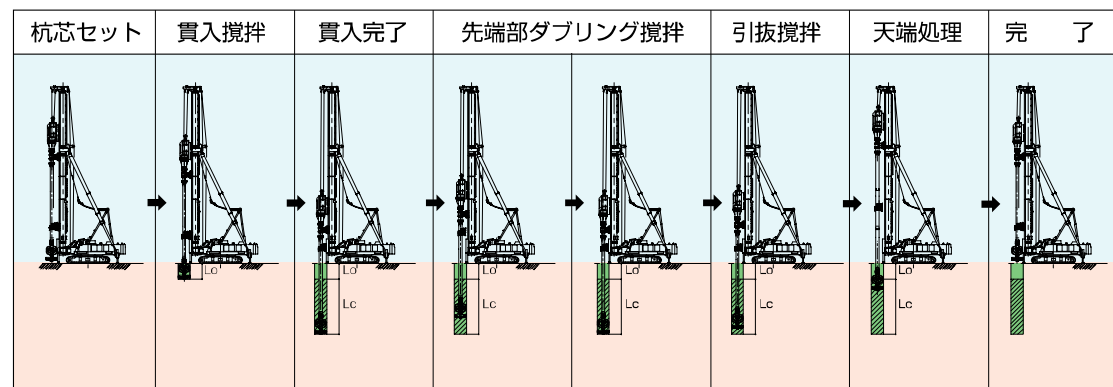
## エポコラム工法・エポコラム-Loto 工法

エポコラム工法は、異方向に回転する外翼(A)・芯翼(C)と中翼(B)・削孔ヘッド(D)とが交差して、スラリーと土壌とを三次元的に練り混ぜ良好な攪拌混合を行う地盤改良工法です。

エポコラム-Loto 工法は、中翼の通過軌跡となる練り込み作用部に強制的にスラリーを吐出することで瞬時にコラム全域に均一なスラリーの注入拡散を行うことができ、攪拌効率が飛躍的に高められ、硬質地盤での施工や高品質な大口径コラム(2,500)の築造が可能となり、従来工法(1,000×2軸, 1,600)に対してコスト縮減、工期の短縮が実現しました。



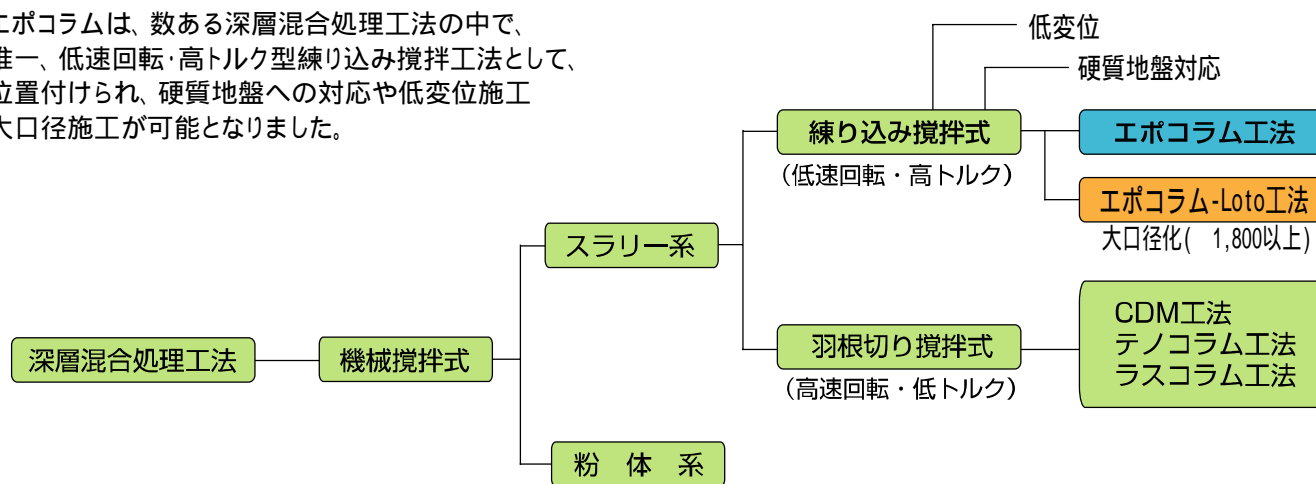
## 施工方法



エポコラム工法・エポコラム-Loto 工法 施工方法

## 工法の位置付け

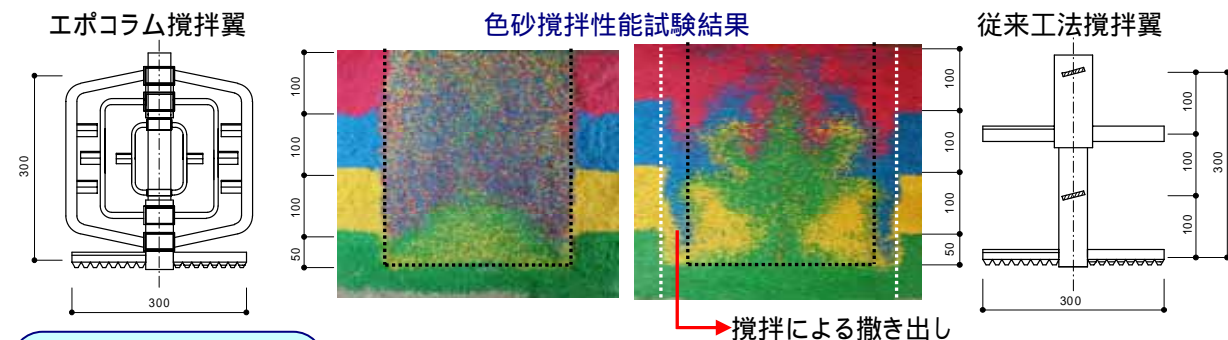
エポコラムは、数ある深層混合処理工法の中で、唯一、低速回転・高トルク型練り込み攪拌工法として、位置付けられ、硬質地盤への対応や低変位施工大口径施工が可能となりました。



## 工法の特徴

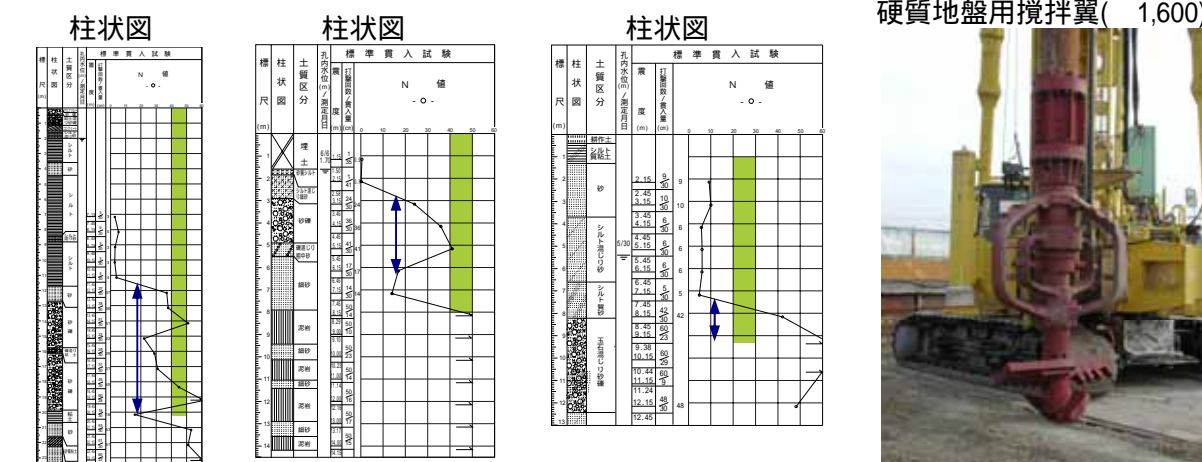
## 攪拌性能

エポコラムの攪拌形態は、三次元的相対攪拌を行い、良好な攪拌性能を有します。コア強度の変動係数は、(従来工法;30~40% エポコラム;20%程度)



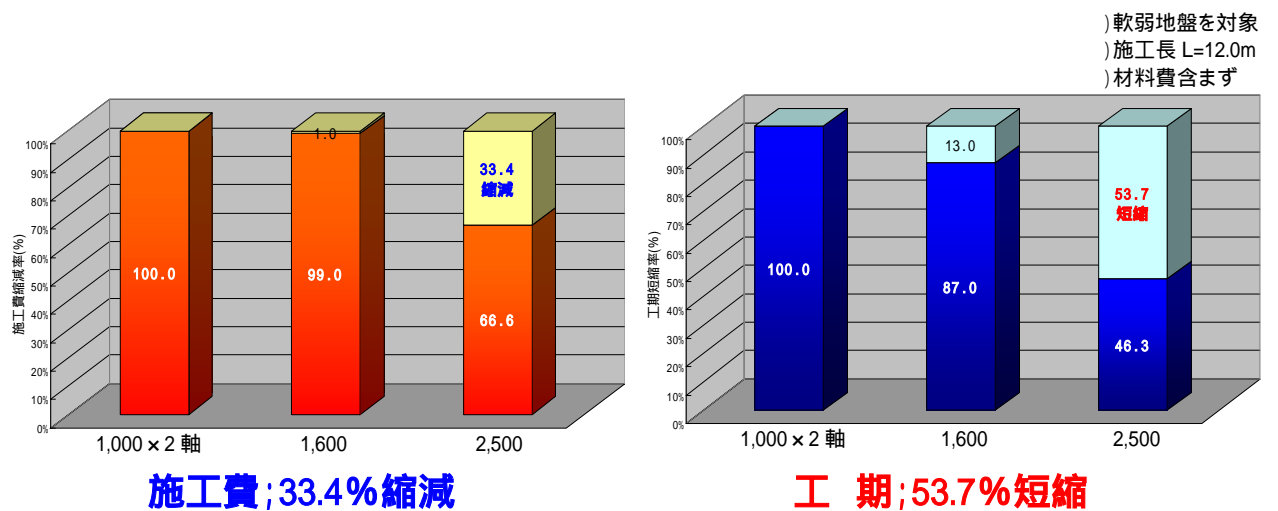
## 硬質地盤施工

エポコラムの攪拌翼は、剛性の高い攪拌翼形状と高トルク型の回転駆動機により、従来工法では、不可能な地盤での地盤改良施工が可能となります。



## 大口径コラム施工

大口径(2500)コラム築造施工により、従来工法(1,000×2軸, 1,600)と比較して、大幅なコスト縮減(33.4%)と工期の短縮(53.7%)が可能となります。



施工費;33.4%縮減

工期;53.7%短縮